



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

会 社 名 太平化学製品株式会社  
 コード番号 4223  
 代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村中 正和  
 問合せ先責任者 (役職名) 経 営 管 理 部 長 (氏名) 山時 慎一  
 半期報告書提出予定日 平成29年12月26日  
 親 会 社 名 東ソー株式会社(コード番号:4042) 親会社における当社の議決権所有比率：75.85%

グリーンシート銘柄  
 URL <http://www.taihei-chemicals.com/>  
 TEL(048)222-1122

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,519	( 13.3)	46	( -)	36	( -)	20	( -)
29年3月期第2四半期	2,223	(△ 8.3)	△56	( -)	△66	( -)	△50	( -)

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 42百万円(-%) 29年3月期第2四半期 △62百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	1 66	-
29年3月期第2四半期	△4 10	-

(2)連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	7,438	2,374	31.9	193 20
29年3月期	7,153	2,331	32.6	189 71

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,374百万円 29年3月期 2,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0 00	-	0 00	0 00
30年3月期	-	0 00			
30年3月期 (予想)			-	2 50	2 50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	5,100	9.3	55	-	50	-	35	-	2 85	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期第2Q	12,300,000株	29年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	30年3月期第2Q	9,062株	29年3月期	9,062株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期第2Q	12,290,938株	29年3月期第2Q	12,290,938株

(参考)個別業績の概要

1. 平成30年3月期第2四半期の個別業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1)個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,389	( 11.5)	22	( -)	24	( -)	13	( -)
29年3月期第2四半期	2,143	(△7.4)	△ 69	( -)	△ 71	( -)	△ 53	( -)

(注)平成30年3月期第2四半期の個別業績における経常利益は24,972千円、四半期純利益は13,990千円であります。

	1株当たり 四半期純利益
	円 銭
30年3月期第2四半期	1 13
29年3月期第2四半期	△ 4 37

(2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	7,395	2,360	31.9	192 02
29年3月期	7,117	2,322	32.6	188 99

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 2,360百万円 29年3月期 2,322百万円

2. 平成30年3月期の個別業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	4,900	9.7	30	-	20	-	1 62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関連する事項は、第2四半期決算短信(添付資料)2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付書類の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

1) 当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）における我が国の経済は、平成28年度第二次補正予算の円滑かつ着実な実行により、個人消費及び設備投資・生産の持ち直し、企業収益の改善等、景気は緩やかな回復基調が続いています。また、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策効果もあり、引き続き緩やかな回復が見込まれています。

このような状況下、当社グループでは市場の回復に加え、国内及び海外の新規需要獲得に努めてまいりました結果、新規商材の実商化により、売上高は2,519百万円、対前年同期比296百万円（同13.3%）の増収となりました。

一方、利益面につきましては、引き続きの経費削減を推し進めたことにより、営業利益は46百万円、対前期比103百万円の増益、経常利益は36百万円、対前期比103百万円の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は20百万円、対前期比70百万円の増益となりました。

2) 事業の種類別セグメントの状況

① 合成樹脂事業

合成樹脂事業は、水処理用部材の好調さや新規商材の実商化により、売上高は、1,576百万円、対前年同期比172百万円（同12.3%）の増収となり、セグメント利益は106百万円、対前年同期比28百万円（同35.8%）の増益となりました。

② 化成品事業

化成品事業は、主力のコンパウンド製品の販売が好調に推移したことから、売上高は、943百万円、対前年同期比124百万円（同15.2%）の増収、セグメント利益は、185百万円、対前年同期比57百万円（同45.4%）の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に現金及び預金・電子記録債権が増加した結果、前連結会計年度末と比較して284百万円増加し、7,438百万円となりました。

負債は、主に支払手形・買掛金が増加した結果、241百万円増加し、5,063百万円となりました。

純資産は、主に当四半期純利益による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加により、42百万円増加し、2,374百万円となりました。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動の結果得られた資金が、投資活動及び財務活動に使用した資金を上回ったことにより、前連結会計年度末に比べ124百万円増加し785百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、182百万円となりました。これは主に仕入債務の増加140百万円及び減価償却費61百万円の影響によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、17百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得13百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、39百万円となりました。これは主に長期借入金の返済38百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績は好調に推移していることから、平成29年8月4日公表時の第2四半期累計期間の業績予想と差異が発生しております。差異については本日（平成29年11月6日）公表いたしました「第2四半期業績予想値と実績値との差異（連結及び個別）に関するお知らせ」をご参照ください。

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年5月15日公表時からの変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法について、従来、草加工場は定額法、本社及び川口工場は定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。この変更は、中期の設備投資計画に基づき、有形固定資産の使用状況を検討した結果、生産高・稼働率等が安定的に推移するものと見込まれ、定額法による減価償却が設備の使用実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	660,976	785,525
受取手形及び売掛金	1,411,216	1,370,632
電子記録債権	164,369	322,004
商品及び製品	792,078	661,041
仕掛品	192,999	252,076
原材料及び貯蔵品	262,803	313,050
繰延税金資産	74,079	74,079
その他	37,444	41,234
貸倒引当金	△300	△71
流動資産合計	3,595,666	3,819,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	256,869	263,308
機械装置及び運搬具	286,944	301,899
土地	2,757,967	2,757,967
リース資産	10,376	9,325
建設仮勘定	9,118	31,437
その他	15,999	14,535
有形固定資産合計	3,337,276	3,378,474
無形固定資産		
ソフトウェア	628	441
電話加入権	2,527	2,527
無形固定資産合計	3,155	2,969
投資その他の資産		
投資有価証券	204,494	227,680
その他	12,992	9,697
投資その他の資産合計	217,486	237,378
固定資産合計	3,557,918	3,618,821
資産合計	7,153,585	7,438,394

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	791,041	931,261
短期借入金	2,400,000	2,400,000
1年内返済予定の長期借入金	77,000	77,000
リース債務	2,265	2,265
未払金	145,533	190,048
未払法人税等	14,142	23,268
未払消費税等	15,025	24,728
未払費用	39,891	61,665
賞与引当金	95,920	95,592
設備関係支払手形	9,001	58,548
その他	8,242	7,389
流動負債合計	3,598,062	3,871,767
<b>固定負債</b>		
長期借入金	384,500	346,000
リース債務	9,006	7,874
退職給付に係る負債	726,735	746,276
役員退職慰労引当金	34,725	21,392
長期預り保証金	62,401	64,214
その他	6,411	6,311
固定負債合計	1,223,779	1,192,069
負債合計	4,821,841	5,063,837
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,222,600	1,222,600
資本剰余金	958,677	958,677
利益剰余金	163,248	183,660
自己株式	△876	△876
株主資本合計	2,343,649	2,364,061
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	△9,282	13,903
為替換算調整勘定	△2,623	△3,408
その他の包括利益累計額合計	△11,906	10,495
純資産合計	2,331,743	2,374,556
負債・純資産合計	7,153,585	7,438,394

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	2,223,572	2,519,992
売上原価	1,878,720	2,085,085
売上総利益	344,852	434,906
販売費及び一般管理費	401,838	388,753
営業利益又は営業損失(△)	△56,985	46,153
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	2,757	2,831
スクラップ売却益	1,467	43
その他の収益	4,002	3,948
営業外収益合計	8,227	6,823
営業外費用		
支払利息	14,204	13,877
為替差損	3,475	2,138
その他の費用	191	167
営業外費用合計	17,871	16,183
経常利益又は経常損失(△)	△66,630	36,793
特別利益		
固定資産売却益	75	840
特別利益合計	75	840
特別損失		
固定資産除却損	250	1,515
リース解約損	956	-
特別損失合計	1,206	1,515
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△67,760	36,118
法人税等	△17,353	15,706
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△50,407	20,412
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△50,407	20,412

四半期連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年 9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△50,407	20,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,873	23,186
為替換算調整勘定	△10,294	△784
その他の包括利益合計	△12,168	22,401
四半期包括利益	△62,575	42,813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62,575	42,813
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△67,760	36,118
減価償却費	73,382	61,633
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△20,896	19,541
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△10,922	△13,332
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,560	△327
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△100	△229
受取利息及び受取配当金	△2,757	△2,831
支払利息	14,204	13,877
有形固定資産売却益	△75	△840
有形固定資産除却損	1,206	1,515
売上債権の増減額(△は増加)	325,267	△117,618
たな卸資産の増減額(△は増加)	△101,378	21,713
仕入債務の増減額(△は減少)	△79,618	140,873
未払法人税等の増減額	8,414	124
未払消費税等の増減額(△は減少)	△33,835	9,703
その他	14,567	39,153
小計	118,137	209,076
利息及び配当金の受取額	2,757	2,831
利息の支払額	△14,290	△13,819
法人税等の支払額	△3,159	△15,134
法人税等の還付額	1,851	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,296	182,953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,259	△13,847
有形固定資産の売却による収入	75	1,000
有形固定資産の除却による支出	△194	△1,470
長期前払費用の増減額(△は増加)	3,178	-
その他	72	△3,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,126	△17,828
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	-	△38,500
リース債務の返済による支出	△2,280	△1,132
配当金の支払額	△30,463	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,743	△39,656
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,739	△919
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	43,687	124,549
現金及び現金同等物の期首残高	654,962	660,976
現金及び現金同等物の四半期末残高	698,649	785,525

(注)キャッシュ・フロー計算書の△は、現金及び現金同等物の流出を表しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

1) 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	合成樹脂 事業	化成品 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,404,487	819,085	2,223,572	—	2,223,572
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,404,487	819,085	2,223,572	—	2,223,572
セグメント利益	78,534	127,311	205,846	△262,832	△56,985

(注) セグメント利益調整額△262,832千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△262,832千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	合成樹脂 事業	化成品 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,576,787	943,205	2,519,992	—	2,519,992
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,576,787	943,205	2,519,992	—	2,519,992
セグメント利益	106,638	185,123	291,761	△245,608	46,153

(注) セグメント利益調整額△245,608千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△245,608千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。